

(シラバス NO.12)(専門科目(共通領域))

科目名	プレゼンテーション特論	単位数	2単位	科目コード	A5
	Advanced Seminar on Presentation	形態	選択		
	Practice	担当教員	内田 友美	教職	-

【授業概要】

講義⇒演習⇒実践のサイクルを回すことで、「わかる」から「できる」、「できる」から「使える」状態にしていく。講義では、プレゼンテーションの必要スキルを細分化し、スキルを習得するためのセルフ・コントロールのポイントを学ぶ。演習では、講義で学んだポイントを個人、ペア、グループなど多様な形態で試行してみる。実践では、演習での試行を踏まえ、自分のテーマで、より実践に近い形でプレゼンテーションを行う。実践内容はビデオで撮影、確認し、各ステップにおける各自の課題を自ら明らかにし、改善していく。

【授業の到達目標】

教師として、授業を行うだけでなく、学会や学内の会議、父兄とのコミュニケーションにおける提言・報告などあらゆるシーンで相手の立場に立った、わかりやすく伝わりやすいプレゼンテーションができる技術を習得することを狙いとする。具体的な取り組みテーマは2つ。シナリオスキルとデリバリースキルである。相手に理解の負担をかけないロジカルなシナリオを構成する力、相手の興味を引きつけ、相手の理解に沿って伝えるデリバリー力を鍛える。

【授業計画】

- 第1回 プレゼンテーションの3つのスキル
 - 第2回 デリバリースキル・トレーニング（言語・非言語メッセージの注意点）
 - 第3回 デリバリースキル・トレーニング（弱点の改善、強みの強化）
 - 第4回 シナリオスキル・トレーニング（構成と具体性）
 - 第5回 シナリオスキル・トレーニング（納得を引き出すシナリオ作成の方法）
 - 第6回 4W1Hでロジックを構築する
 - 第7回 提案シナリオの発表
 - 第8回 資料作成の工夫
 - 第9回 ビジュアル・プレゼンテーション課題発表
 - 第10回 課題発表のスキルチェック
 - 第11回 授業運営とファシリテーション
 - 第12回 シナリオ構築&場づくりの工夫
 - 第13回 プレゼンテーションと場のコントロール
 - 第14回 発表
 - 第15回 講評&気づきの共有、まとめ
- 試験

【評価方法】

- 各授業の演習ならびに最終課題の発表（50%）と試験（50%）により評価する。
- ① 与えられた時間を効果的に使い、相手にとって価値あることを明確に伝えることができる（シナリオスキル）
 - ② 相手を引き込み、テーマに集中させることができる（デリバリースキル）
 - ③ 常に自分の意見、考えを持ち、思いを込めて伝えることができる（プレゼンス）
- また、クラスに気づきを与えるコメント、アウトプットによる授業への貢献を評価する。

【教科書】

授業のテキストは各回配布する

【参考図書】

『プレゼンテーションのノウハウ・ドゥハウ』HRインスティテュート著（PHP文庫、2008）